

各位

上場会社名	初穂商事株式会社
代表者	代表取締役社長 斎藤 悟
(コード番号)	7425)
問合せ先責任者	専務取締役管理本部長 高野 温志
(TEL)	052-222-1066)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年2月9日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,426	1	22	11	1.38
今回発表予想(B)	6,175	△85	△59	△144	△17.52
増減額(B-A)	△1,251	△86	△81	△155	
増減率(%)	△16.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	7,209	△74	△47	△42	△5.15

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,200	43	86	45	5.36
今回発表予想(B)	12,880	△100	△47	△145	△17.60
増減額(B-A)	△2,320	△143	△133	△190	
増減率(%)	△15.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	14,184	△91	△32	△51	△6.19

修正の理由

- 平成22年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正理由

建設業の経営環境は、世界同時不況以降、公共投資や民間建設投資が過去最大幅の激しい落ち込みとなり、予定されていた工場の新增設、郊外型スーパーの出店の中止や延期が相次ぎました。又、長引く景気低迷によりオフィスビルの空室率が高止まりし、新規需要が低迷するなど需要環境が予想以上に悪化してまいりました。

このようなことから、当社の主力商品の軽量鋼製下地材・不燃材の売上が急減したため、売上高は、61億75百万円(前回発表予想比12億51百万円減)となる見込みであります。又、利益面につきましては、全面的な固定費の見直しや物流改善等に取り組み、大幅な削減を実施し、業績向上のため最大限の努力をしてまいりました。しかしながら、売上高の減少により、営業損失85百万円(前回予想比86百万円減)、経常損失59百万円(前回発表予想比81百万円減)となりました。又、繰延税金資産の回収可能性を見直し、過大となった金額74百万円を取り崩したため、四半期純損失1億44百万円(前回発表予想比1億55百万円減)となる見込みであります。

- 平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正理由

今後の国内外の景気見通しは、輸出に牽引され製造業を中心とした持ち直しの動きはあるものの、外需の先行きに対する不透明感から企業は新たな投資に慎重な姿勢を強めていることから、設備投資の早期回復は期待できず、建設分野を中心とした国内需要は依然低迷することが予想されます。このような極めて厳しい状況下、当社は、営業力の強化、経費削減を引き続き進めてまいりますが、国内需要の低迷や製造業の海外流出などの不透明感の強い様相を呈しており、急回復を見込むことは難しいことから、通期の業績を修正することにいたします。

以上